

富士河口湖町立 教育センターだより

No.22



平成28年1月12日 文責 中澤 敦子

新年あけましておめでとうございます



新しい年が始まりました。学校では1年間のまとめとともに、進級進学に備える大切な三学期が始まります。中学三年生は体調には万全の注意をして、将来を見据え受験を乗り切らなくてはなりません。小学六年生は六年間の成長を振り返り、小学校生活の仕上げをしなくてはなりません。子ども達それぞれには、これまでの自分の歩みを明るい未来へと繋ぐため、毎日を真剣にそして一生懸命過ごして欲しいと思います。

教育センターも学校や御家庭とともに子ども達の頑張りを応援していきます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、一年の中で一番寒い時期を目の前に、これからの天候が気になるところです。気象庁の発表によると、暖冬…とのことでしたが、だからこそ大雪が、インフルエンザの流行が心配されます。2年前の大雪を教訓に、また毎年耳にするインフルエンザ対策に、是非「備えあれば憂いなし」の姿勢で臨んでいかなくてはと思います。

その1・管外視察研修について

1月30日に「第18回富士山学習 PARTⅡ発表会」が静岡県富士宮市文化ホールで行われます。この発表会は富士宮市にあるすべての小中学校35校の発表会です。

当日は、富士山学習研究員の先生方を中心に希望される先生方と参加を予定しています。富士河口湖町が推進している「富士山学習」を富士宮市ではどのような切り口で進

めているのか、また、富士山を守ろうとする子ども達はどのように向き合っているのか…など、学んできたいと思います。研修の内容はまたセンター便りでお伝えします。

その2・ICT 機器導入について

昨年9月、町議会において ICT 機器関連の補正予算が組まれました。小学校4年生以上だった ICT 機器の環境が、全学年に拡大され、電子黒板、書画カメラ、ホワイトボードの導入が決定されました。また、タブレット端末導入のための校内ランの工事も終わり、いよいよさらなる ICT 機器の有効活用に向けた取り組みが各校でスタートします。「子どもたちが集中しやすい」「動画などを使い分かりやすく説明ができる」など、ICT機器の良い点をいかしながら、楽しい授業が展開されていきます。

